

2026年3月27日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館 開館5周年記念

「杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner」公式書籍

2026年4月上旬発売

〈出版記念トーク〉4月23日（木）twililight（東京・三軒茶屋）で開催

〈クロージングトーク〉5月17日（日）弘前れんが倉庫美術館で開催



表紙デザイン

弘前れんが倉庫美術館で開催中の開館5周年記念「杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner」の公式書籍が、2026年4月上旬に出版レーベル HeHe（ヒヒ）より刊行されます。本書は、写真家・ホンマタカシ氏が展示風景を撮り下ろし、本展コラボレーター／グラフィックデザイナーの服部一成氏がデザインを手がけます。このたび、本書の出版を記念して、2026年4月23日（木）、東京・三軒茶屋にある書店「twililight」（トワイライライト）にて、杉戸洋氏、服部一成氏、木村絵理子（弘前れんが倉庫美術館館長）が登壇するトークイベントが開催されます。さらに、「杉戸洋展」の会期最終日となる2026年5月17日（日）、弘前れんが倉庫美術館でクロージングイベントを開催します。

書籍概要

書名 | 杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner

発売日 | 2026年4月上旬

価格 | 4,180円（定価3,800円＋税10%）

判型 | B5 / 144ページ / ソフトカバー（仮フランス装）

言語 | 日本語 / 英語

発行 | HeHe

デザイン | 服部一成

展示風景写真 | ホンマタカシ

執筆 | 杉戸洋、木村絵理子

販売場所 | cafe & shop BRICK（弘前れんが倉庫美術館となり）

オンラインショップ <https://hirosakimoca.thebase.in/>

HeHe オンラインショップ <https://hehepress.stores.jp/>ほか全国の書店

ISBN | 978-4-908062-68-1

※掲載用画像の提供が可能です。ご希望の方は広報担当までご連絡ください



広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

東京開催

『杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner』出版記念トーク

画家の杉戸洋氏、グラフィックデザイナーの服部一成氏、そして本展を企画した木村絵理子が、杉戸洋展が形づくられるまでの軌跡や展覧会に込めた思い、書籍制作の裏側について語ります。

■開催概要

日時 | 2026年4月23日(木) 19:30-21:00 (19:00開場)

※トーク終了後、杉戸洋と服部一成によるサイン会を実施

会場 | twililight (トワイライイト) <https://twililight.com/>

(東京都世田谷区太子堂4-28-10 鈴木ビル3F&屋上 / 三軒茶屋駅より徒歩5分)

出演 | 杉戸洋、服部一成、木村絵理子

定員 | 30名(来店)

料金(税込) | ①来店参加: 2,000円

②来店参加+書籍: 6,180円(書籍は当日お渡し)

③配信参加(リアルタイム/見逃し配信あり): 1,000円

④配信参加+書籍: 5,180円(書籍はイベント後の発送)

申込み | イベント予約サイト Peatix <https://sugitotalk.peatix.com>

イベントの一般問い合わせ | twililight (Peatixのページからメッセージ機能をご利用ください)

本イベントの取材に関する問い合わせ | 弘前れんが倉庫美術館 広報担当 TEL: 0172-32-8950

■出演者プロフィール

杉戸洋 (すぎと ひろし)

1970年愛知県生まれ。1992年愛知県立芸術大学美術学部日本画科卒業。1990年代の活動初期から国内外で数多くの展覧会に参加。主な個展として、「FOCUS」(フォートワース現代美術館、アメリカ、2006年)、「天上の大地 prime and foundation」(宮城県美術館、宮城、2015年)、「frame and refrain」(ベルナルド・ビュフェ美術館、静岡、2015年)、「こっばとあまつぶ」(豊田市美術館、愛知、2016年)、「杉戸洋 とんぼ と のりしろ」(東京都美術館、東京、2017年)の他、海外でも多数の個展を開催。「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」(吉井酒造煉瓦倉庫、弘前、2006年)に参加。平成29年度(第68回)芸術選奨、文部科学大臣賞受賞。

服部一成 (はっとり かずなり)

1964年生まれ。ライトパブリシティを経てフリーランス。主な仕事に「キューピーハーフ」の広告、雑誌『流行通信』『here and there』『真夜中』のアートディレクション、弘前れんが倉庫美術館、三菱一号館美術館、新潟市美術館のVI計画、ロックバンド「くるり」のアートワークなどがある。毎日デザイン賞、亀倉雄策賞、ADC賞、東京TDCグランプリなどを受賞。

木村絵理子 (きむら えりこ)

本展キュレーター。弘前れんが倉庫美術館館長。元横浜美術館主任学芸員、ヨコハマトリエンナーレ2020企画統括などを経て、2024年より現職。「蜷川実花展with EiM」(2024年、弘前れんが倉庫美術館)や「奈良美智展」(2012-13年、横浜美術館ほか)など、現代美術や写真の展覧会を企画。美術評論家連盟会員、多摩美術大学・金沢美術工芸大学客員教授。

弘前開催

「杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner」クロージングトーク：本のはなし

本展の準備中、杉戸氏とコラボレーターの服部一成氏、そして美術館との間には、他のアーティストたちの画集や写真集、さまざまな雑誌の話が登場しました。本トークでは杉戸氏と服部氏に、これらの本や雑誌への興味についてお聞きします。また、本展公式書籍を含む作品集をはじめ、携わってきた本への思いを、実際にそれらを見ながらお話しいたします。



Photo by Hiroshi Sugito

日時 | 2026年5月17日(日) 14:30-16:00 (受付開始 14:00) ※トーク終了後、サイン会を実施
会場 | 弘前れんが倉庫美術館 スタジオ B
出演 | 杉戸洋、服部一成 聞き手: 佐々木蓉子 (弘前れんが倉庫美術館アシスタント・キュレーター)
定員 | 40名
料金 | 無料
対象 | 本展公式書籍『杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner』をお持ちの方 (当日購入可)
申込み | 予約優先 WEB (Peatix) <https://sugito-closing-talk.peatix.com> または 電話 0172-32-8950
※4月4日(土) 10:00より予約受付開始
WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/13782/>

【展覧会概要】

開館5周年記念「杉戸洋展：えりとへり / flyleaf and liner」

会期 | 2025年12月5日(金) - 2026年5月17日(日)
会場 | 弘前れんが倉庫美術館
開館時間 | 9:00-17:00 (最終入館は閉館の30分前)
休館日 | 火曜日 (ただし4月14日(火)・21日(火)・28日(火)、5月5日(火・祝)は開館)、5月7日(木)
料金 | 一般 1,500円、大学生・専門学校生 1,000円、高校生以下無料
コラボレーター | 服部一成
友情出品 | ゴクラ・シュトフェル



【関連プログラム】

杉戸洋によるワークショップ「紙で服をつくろう」

作品にも使われている紙を使って服の「えり」をつくるワークショップです。

日時 | 2026年3月28日(土) 13:30-15:30
会場 | スタジオ B、展示室内
参加予定人数 | 12名 (定員に達したため参加受付は終了しました)

※本ワークショップの取材をご希望の方は、弘前れんが倉庫美術館 広報担当までご連絡ください。

■弘前れんが倉庫美術館について

当館は、明治・大正期に酒造工場として建設され、戦後はシードル工場として使われた煉瓦造の建物を、建築家の田根剛が「記憶の継承」をコンセプトに改修し、2020年に開館した現代美術館です。弘前をはじめとする東北地域の歴史や文化を継承しつつ、この土地や建物に呼応するような、国内外の先進的なアーティストたちによる作品を紹介しています。



©Naoya Hatakeyama

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川

TEL: 0172-32-8950 FAX: 0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1